

***白井貴子じぶん発電所スタート！ ***

今年も梅雨本番！今回は神奈川県に 4 つある水瓶の 1 つ宮ヶ瀬ダムが一時は底が見えるほどになってしまったことをお伝えしました！現在はその後の雨のおかげで 55%だそう。それでも真夏に向け引き続き水を大切にしていきましょう！

最近、どこを見ても「AI」の話題が多く「この先、人間はどうなってしまうのだろう？」と思いますが、ちょっと前なら、わからないことなどあったら、家族やお友達に聞いたり、図書館に駆け込んだりして調べていたことも、忙しいのをいいことに「AI はなんて答えるのかな？」とまずは検索しちゃいますね。しかも「この子いいこと言ってるジャン！自動運転も普通になるはずだ〜！」なんてあまりのご立派な答えに唖ってしまうようなこともあります、それぞれの答えの下のほうに小さく情報発信元がありますので、そこをちゃんと見て自分で判断確認することが大切です！

そこで、梅雨に入り除湿機を使うことも多いので、「除湿機でできた水は植木にかけても大丈夫ですか？」と、聞いてみたところ「空中の雑菌が繁殖している可能性があるので流しに捨ててください」との返答。コロナ以降、雑菌や細菌という、目に見えない世界についつい神経質になりすぎ「こんなんじゃ外敵に弱い人間になっちゃう！」と不安にもなってしまいますが、やはり清潔にすることは大切なので、除湿機でできた水は、アスファルトの打ち水位に留めておいたほうがよさそうです。

今回は、前振りが非常に長くなってしまいましたが、世界の信じがたい「ハイテクピンポイント戦争」に巻き込まれていると実感する昨今の物価高。だからこそ、少しでも「自給自足」の生活を上げていこう！と先日、私「白井貴子発電所」を開始しました！

な〜んて言うと「大富豪」のように聞こえてしまいますが、小さな小さな、手作りできる自家ソーラー発電装置のこと。20 代の終わりに 2 年間ロンドンに住んだことをきっかけに、「自然と共に生きるスタンスを大切にする生活の中で音楽を生み出して行きたい！」と大人としての夢を描き直し帰国後、日本でもその空気感を維持していくために 2003 年に南伊豆に小さな森を購入しました！

その頃、ナイスなタイミングで知り合ったソーラートラックの会社の方が、家庭用のソーラー発電機を作っていたんです！20 年前の当時は、めちゃくちゃ重くてサイズも茶箱位もありました！それをお借りして、「マーガレットグラウンド」と名付けた森で晴天の日を狙って蓄電！「グルーガン」という電気で溶かす接着剤を動かし、海で拾い集めたゴミやガラス玉を並べて、ビーチコーミング！ゴミの花を作って、CD のロゴもつくりました。最新技術と負の遺産であるゴミを再利用。完成したアートを眺め「やっとここまで来れた！」と空を眺めて深呼吸したあの日。

その後は山あり谷ありで、残念ながら小さなソーラーパネル 1 枚だけの日々でしたが、ついに、今年、長年の環境仲間「エコロジーオンライン」の皆さんとタッグを組んで、可愛い発電所をオープン！緊急時の水を備蓄するように、この装置も並べて、いざと言う時、必要な場所へ運べるようにする動きに参加しました！地球環境悪化が叫ばれエネルギーが枯渇する中、太陽エネルギーはまだ無限大！これからさらに太陽の力をいただいて少しでも環境負荷が軽減すればいいと思います。

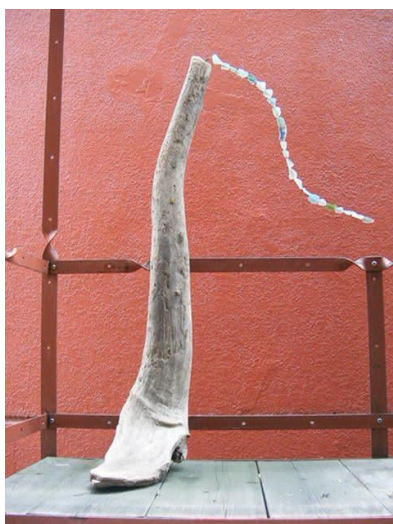
たくさんの人に伝えるため、クラウドファンディングも開始！賛同してくれた皆さんありがとうございました！今後、エコロジーオンラインの本拠地、栃木で「じぶん発電所ワークショップ」を開催。関西学院大学でも「じぶん発電所」を使った防災レシピづくりを予定しているということです。「1 人 1 つの自家発電所」がスタンダードになると、きっと大きな節電になりますね！そんな日を夢見て、今年どうぞ節水節電で良い夏を！



自分で組み立てられる、キャンプのかわいいランタンにもなる
「じぶん発電所」20 年で 10 分の 1 の大きさになりました！



5月の「国分寺フェスにてエコロジーオンラインの皆さんと」



「未来へ咲かそうフラワーパワー」



「ゴミアートを持って写真を撮った人類初のミュージシャン?!」



アルバム『LIVING』ジャケットのロゴも海のガラス玉！」